

介護・ヘルパーネット NEWS ⑥

全国労働組合総連合 〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4 階 TEL 03-5842-5611



介護署名 18 万 279 人分提出 (累計 20 万 6514 人分)

全労連介護・ヘルパーネットは 2 月 17 日、中央社保協や民医連、認知症のひとと家族の会など 7 団体で、「コロナ危機から介護を守って！介護署名提出 2・17 国会行動」を開催しました。11 時から厚労省との懇談を行った後、この間 7 団体で取り組んできた介護署名 18 万 279 人分（累計 20 万 6514 人分）の提出集会を行い、7 団体の共同アピールを出しました。集会には参議院議員の福島みずほ議員と倉林明子議員から激励のあいさつを受けました。新型コロナ感染拡大防止のため、時間を短縮し、会場とオンライン併用で行い、75 人が参加しました。終了後、介護・ヘルパーネットとして、紹介議員に署名を届けるとともに衆・参野党の厚労委員に国会議員への一言カード 134 人分を届けました。紹介議員は衆・参の厚労委員を中心に 8 人となっています。



一言カードを議員に渡す医労連の仲間

紹介議員（2021 年 2 月 17 日現在）

衆議院 宮本徹（共産）、早稲田夕季（立憲民主）、稲富修二（立憲民主）、津村啓介（立憲民主）、白石洋一（立憲民主）、

参議院 川田龍平（立憲民主）、倉林明子（共産）、福島みずほ（社民）



現場労働者を守る施策求め、訴え 危険手当実現へ努力を 利用者に感染させたら誰が私を守ってくれるのか ケアマネの負担増やす逡巡性撤回を

厚労省との懇談では、(1) コロナ禍での介護サービス利用者、事業者等への国の対応状況、(2) 介護事業所における感染症対策は公費で、(3) 2021年4月の報酬改定、(4) 福祉用具、(5) 人材不足対策などについての質問への回答を聞いたあと、現場実態を訴えました。

全労連からは、福祉保育労の民谷孝則書記次長が危険手当について、「昨年11月の要請では『部局として財務省に掛け合っているが実現できなかった。今後検討したい』と言っていたのに、明らかな後退だ。担当部局として3次補正に向けて努力したいというのがあるべき姿ではないか」と指摘。非常勤のホームヘルパーとして働いている生協労連の亀井貴子さんが、「防護具もない、PCR検査もないなかで、もし利用者に私が感染させたら、だれが私を守ってくれるのか。今の訪問介護はやりがいがあっても続けられない。やりがい続けられる現場にしてほしい」と強く訴えました。北海道の田村優実さんがケアマネの逡巡性の改定について「現場のケアマネの負担を増やすもので、現場のケアマネはみな反対している」と指摘し、撤回を求めました。

認知症の人と家族の会鈴木代表が、特例措置の継続について撤回を求めたほか、コロナ危機の中で、特養などの補足給付費や高額介護サービス費の上限を上げることについて、予定通り実施すべきではないと指摘しました。

医療、介護、福祉の会の小島代表が、コロナ感染が発生した場合の他施設からの応援というが1か月シフトに穴が開き、さらに2週間の待機が必要となるため、比較的余裕のあるうちの施設でもバックアップの職員を出すので精いっぱいだったと現場実態を伝えました。また、訪問介護への対応について、「最後のとりでなのにPCR検査からもワクチンの優先接種からも外れている。だれが責任をとるのか」と迫り、人材確保策について「加算はありがたいが、これでは基本給は上げられないし、生活が苦しくなっている利用者にはねかえるものだ」と述べ、公費による恒久的な措置を求めました。



危険手当実現を訴える民谷さん



低減制に現場は大反対と訴える
北海道の田村さん

亀井さんの訴え



自宅から利用者の家に行き、自宅に帰る直行直帰ではたらく非常勤のヘルパーです。職場では10年前からすでに手洗い用のせっけん、消毒用アルコール、使い捨て手袋、マスクの支給は受けていました。1回目の非常事態宣言の時もこれ以上のものは何もなかった。逆にマスクは3回洗って使ってくれと言われた。現在は使い捨て手袋がすごく高くなったので、身体介護には使っているが生活援助はゴム手袋を家で洗って何度でも使ってくださいとなっている。ものがなくなることはとても不安こういうものはいつでも安心して、金額問題も国のほうで頑張ってみてほしいと思います。

非常勤ヘルパーは、自身が感染したら利用者に感染させるのではないかと、感染してしまった利用者は確実に高齢者で基礎疾患があるので死んでしまうだろうという不安の中で働いています。もし本当に利用者が死んでしまった場合、誰が私のことを守ってくれるのかと思います。事業所にも聞きましたが答えはありませんでした。「そうねえ」と言われただけです。いったいこの気持ちをだれが守ってくれるのでしょうか。

非常勤のヘルパーは事務所に行って「今日は大変だったねー」「今日は陽性者が増えたねー」という話を

することがありません。本当に孤独で働いているのです。非常勤ヘルパーの心の問題を考えたことがありますか？メンタル面でとてもつらい思いをしているのに助けてくれる人がいない。

今、一生懸命利用者のために頑張っていますが、この後コロナが落ち着いたら多くの人が辞めていくと思います。すごい人手不足に陥ると思うので、「はたらき続けたい」、新しい人が「やってみたい」と思えるような、やりがいがあるのにやりきれない職場じゃなくて、やりがいがあるから続けていきたいと思えるような状況、環境を作してほしい。

7 団体共同アピール全文

コロナ禍での緊急の対策を強化し、「全世代型社会保障改革」の名の下での社会保障切り捨てを撤回し 安心できる介護保険、介護報酬改定を求める共同アピール

2021 年 2 月 17 日

公益社団法人 認知症の人と家族の会
21 世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会
いのちと暮らしを脅かす安全保障関連法に反対する医療・介護・福祉の会
守ろう！介護保険制度・市民の会
全国労働組合総連合
全日本民主医療機関連合会
中央社会保障推進協議会

コロナ禍の真ただ中に就任した菅首相は「まずは自助」と述べて、国民の疲弊に目が向いていないことを明らかにしました。何より日本国憲法第 25 条「すべて国民は、健康で 文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」に反する発言です。一方、各国に比較して圧倒的に少ない PCR 検査、著しいワクチン接種の遅れと基本的な 対応を怠るばかりか、コロナ禍前から進めていた病床削減を止めることなく 公立・公的病 院統廃合を進めています。私たちが直接かかわる医療・介護の現場では、感染者増による 病床の不足と医療者の疲弊が起き、介護施設ではクラスターが起きても入院できない状況 です。そして、この 1 年間に職を失い、住まいを失った人々が多数存在することには目も くれず「最後には生活保護がある」と言い放ち、「経済が大切」と感染者を増加させた「GO TO キャンペーン」だけは前のめりに進めてきました。

医療と介護にかかわる私たちは、「全世代型社会保障改革の方針」が暮らしに安心をも たらすより、「高齢者優遇」などの誤ったレッテル貼りで世代を分断していることに大きな危惧を抱いています。そして、後期高齢者医療費の自己負担割合の引き上げが予定されています。若年層対応として目を引く「不妊治療」ですが、結婚や子をもつことをためらうような雇用環境の改善、出産後の保育所不足などはセットになっていません。「大きな リスクは共助、小さなリスクは自助」と分けていますが、リスクの大小を恣意的に線引き し、自助が細った人々の生活を困窮させ、世界に誇る国民皆保険や 40 歳以上が全員加入 する介護保険へのアクセスさえ困難にするもののように見えます。介護報酬改定案は、もはや危険水域を超えた介護人材不足を解消することは不可能と断じる他ないものです。わずか 0.7%の報酬引き上げでは、全職種平均より年額 100 万円近く少ない賃金を改善することはできません。一方、「科学的介護」で導入される ICT・ロボットは、人員配置の削減の理由になっています。「制度の持続可能」を謳ってみても、働き手なしには持続できません。

コロナ禍における従事者への対応も納得できません。各地でクラスターが発生する介護 施設職員に対しては PCR 検査が公費で行われていますが、在宅要介護者を支えるデイサービスや訪問ヘルパーは対象外。ワクチン接種の優先も施設職員のみで、在宅介護従事者 は除外されています。にもかかわらず、厚生労働省は訪問介護をはじめとした介護サービス事業所宛に 2 月 8 日に「感染が拡大している地域の家族

等との接触があり新型コロナウイルス感染の懸念があることのみを理由にサービスの提供を拒むことは、サービスを拒否する正当な理由には該当しない」との事務連絡を出しました。検査やワクチンという武器を渡さずに戦えというに等しい通知です。直ちに公費による緊急、頻回の PCR 検査を実施し、すべての介護従事者をワクチンの優先接種対象とすることを求めます。

このような政策や対応では私たちは安心して介護にあたることはできません。従事者だけでなく、介護家族や当事者も同じ思いです。今からでも遅くありません。「全世代型社会保障改革」を撤回し、介護保険制度改悪をストップさせ安心できる介護を保障するための報酬改定へ転換することを強く求めます。

以上

● 2・17の資料は中央社保用の HP 新着情報から（以下の資料が入っています）→ [中央社保協 HP](#)

- ①当日用スケジュール⇒「2.17 署名提出・厚労省懇談」実施要綱（スケジュール）
- ②厚労省懇談質問書⇒厚労省懇談に向けての質問（提出用）、21 老福連 資料
- ③7 団体共同アピール⇒2.17 共同アピール(確定)
- ④厚労省回答⇒厚労省回答、厚労省対応者一覧